名寄市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

名寄市では近年、人口の減少や自家用車の普及により、路線バスの利用者が低迷し、効率的な方法による公共交通の運行が必要となっており、クルマを所有していない市民も数多く存在しているため、「買い物」や「通院」等の移動に困らない交通システムの確保が求められている。

当該デマンド交通の運行地域は、住居が低密度に広く分散し路線バスの利用がしづらい交通空白地帯である。日常生活に不可欠な地域の交通手段の確保とともに、当市に所在するJR名寄駅、風連駅と居住地域を結節し交通のネットワークを形成する目的で導入しているものである。

生活交通確保維持改善計画の目標

名寄市郊外部においては、定時定路線型の路線バスでは、非効率な運行となり、また、交通サービスレベルも低いと考えられる。さらに高齢者は、バス停留所までの移動距離に対して負担を感じており、デマンド型交通の導入によって、交通空白地帯を解消するとともに、「買物」や「通院・通学」などの日常生活に必要不可欠な「地域の足」を確保する。

【具体的目標】

デマンド型交通（下多寄線）の利用者数の向上　→　目標270人／ 月
デマンド型交通（御料線）の利用者数の向上　→　目標200人／月
デマンド型交通（下多寄線）の利用者満足度の向上　→　目標100%
デマンド型交通（御料線）の利用者満足度の向上　→　目標100%

地域公共交通の現況

- JR宗谷本線（名寄、風連、東風連、日進、智恵文、智北）
- 名士バス㈱（市内5路線、郊外5路線）
- 道北バス㈱（2路線）
- 士別軌道㈱（2路線）
- ジェイ・アール北海道バス㈱（郊外1路線）
- 北海道中央バス㈱（都市間バス1路線、共同運行）
- スクールバス（7路線）
- 宗谷バス（都市間バス1路線）

協議会開催状況

- 令和2年5月29日　令和2年度第1回協議会を開催
  地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について
- 令和2年12月3日　令和2年度第2回協議会を開催
  デマンド交通及びUDタクシーの事業評価について
- 令和3年6月21日　令和3年度第1回協議会を開催
  令和3年度事業計画（案）について
  令和3年度収支予算（案）について
  公共交通利用促進策について
  地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について
  生活交通改善事業計画の策定について
  名寄市地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正について
- 令和4年1月18日　令和3年度第2回協議会を開催
  地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について

令和３年度事業概要

下多寄線（西風連～風連駅～名寄駅）
運行回数　往路4回・復路5回

御料線（風連日進～風連町内～道の駅）
運行回数　往路5回・復路5回

【下多寄線】

○利用料金 大人1名	風連2区	下多寄3区	下多寄4区	下多寄5区	風連豊里	西風連	共和	豊栄
風連地区まで	300円	300円	300円	300円	300円	400円	400円	500円
名寄地区まで	600円	700円	700円	600円	500円	800円	400円	300円

【御料線】

●デマンドバス料金表

	日進・東生	旭	中央	緑町
対象エリア内の移動	200円（高校生以下:100円）	200円（高校生以下:100円）	200円（高校生以下:100円）	200円（高校生以下:100円）
風連市街地までの移動	400円（高校生以下:200円）	300円（高校生以下:150円）	250円（高校生以下:130円）	200円（高校生以下:100円）

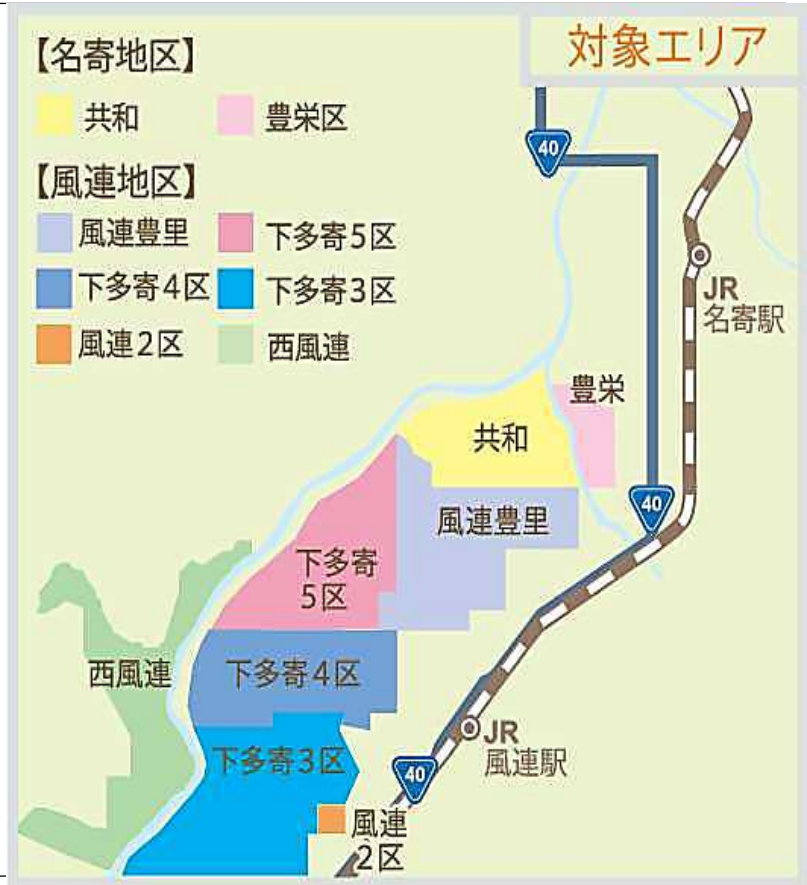
令和３年度事業の実施状況

１）プロセス、創意工夫

・デマンド型交通については、利用者になじみのない予約型の運行システムのため、PRチラシやホームページでの周知を継続して実施を行った。
・とりわけ、新型コロナウイルス感染症の影響により老人クラブ等の会合で利用を呼びかけるといった機会が無かったため、広報誌を用いて公共交通全般に関する利用促進、周知啓発活動を行った（R3.7月号掲載）。広報誌には公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」を使用した。
・アンケート調査を実施し、乗降指定箇所の見直しを行った（R1.10に1個所）。

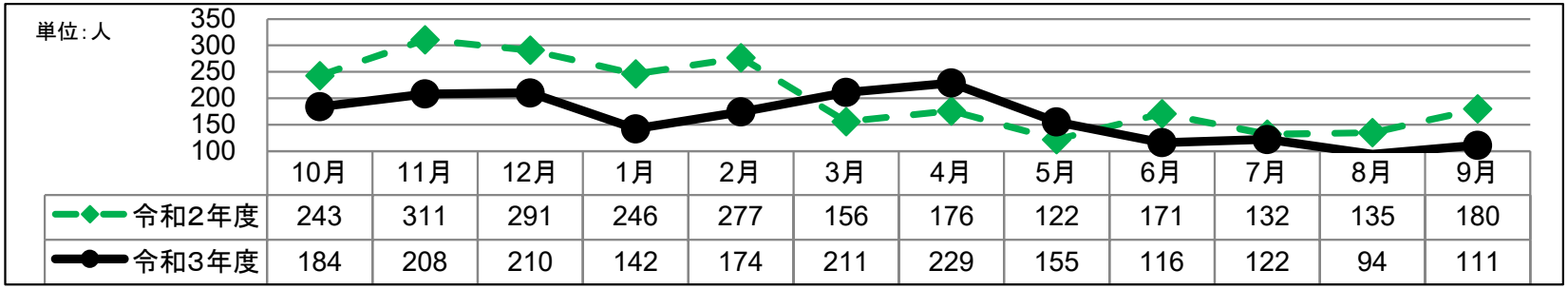
２）運行系統

【下多寄線】



【御料線】

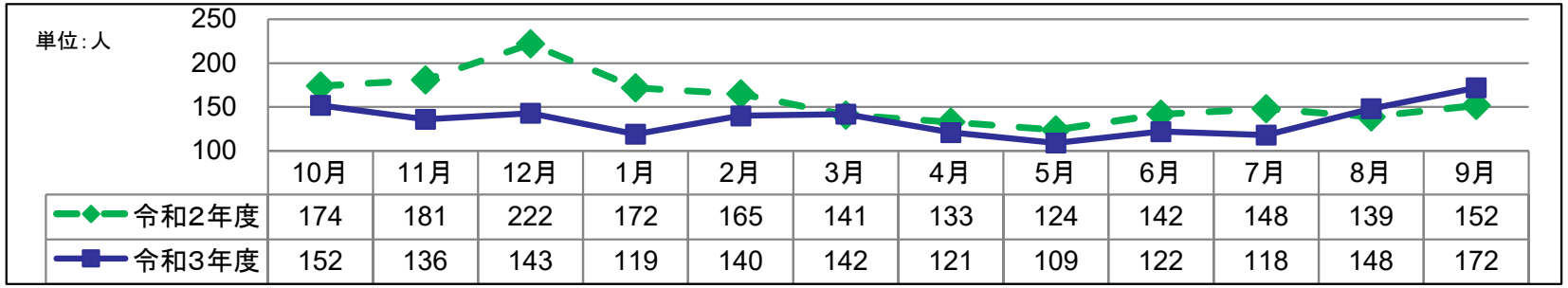
３）利用実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和2年度	243	311	291	246	277	156	176	122	171	132	135	180
令和3年度	184	208	210	142	174	211	229	155	116	122	94	111

下多寄線

合計	内訳（一般）	内訳（学生）
2,440	1,649	791
1,956	1,360	596

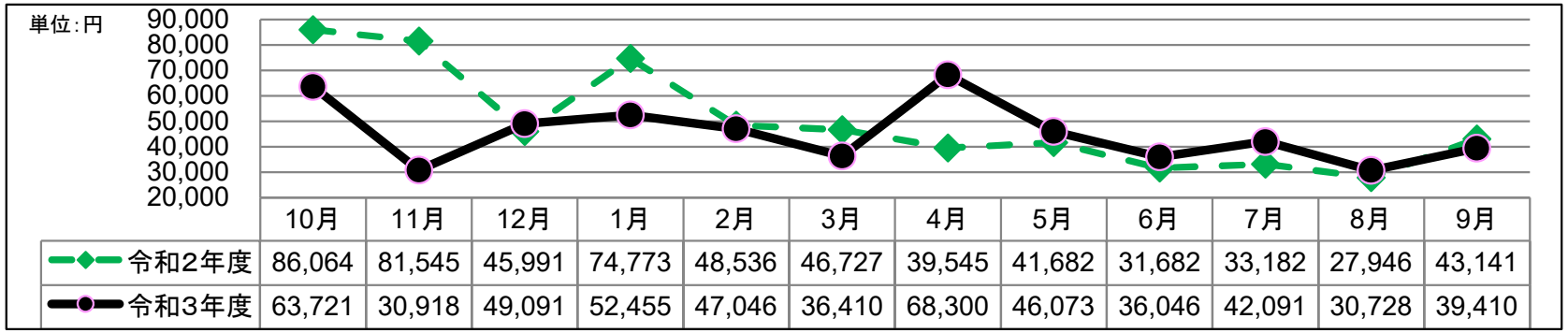


	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和2年度	174	181	222	172	165	141	133	124	142	148	139	152
令和3年度	152	136	143	119	140	142	121	109	122	118	148	172

御料線

合計	内訳（一般）	内訳（学生）
1,893	1,890	3
1,622	1,622	0

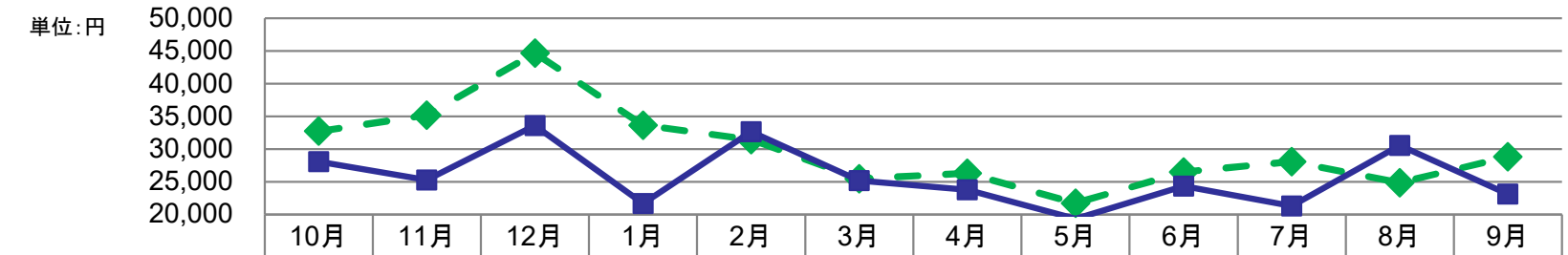
４）収入実績



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和2年度	86,064	81,545	45,991	74,773	48,536	46,727	39,545	41,682	31,682	33,182	27,946	43,141
令和3年度	63,721	30,918	49,091	52,455	47,046	36,410	68,300	46,073	36,046	42,091	30,728	39,410

下多寄線

合計
600,814
542,289



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和2年度	32,736	35,174	44,682	33,636	31,455	25,473	26,314	21,736	26,500	28,091	24,864	28,836
令和3年度	28,086	25,263	33,600	21,681	32,681	25,181	23,800	19,318	24,327	21,309	30,554	23,136

御料線

合計
359,497
308,936

5）事業実施の適切性

事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

6）目標・効果達成状況

・デマンド型交通の利用者数の向上
　下多寄線
　月平均利用者数 目標270人／ 月　→　実績163人／月
　新型コロナウイルス感染症の影響のため利用が減少しており、 目標値▲107人／月であった。

　御料線
　月平均利用者数 目標200人／ 月　→　実績136人／月
　新型コロナウイルス感染症の影響のため利用が減少しており、 目標値▲64人／月であった。

・デマンド型交通の利用者満足度の向上
　下多寄線
　目標 100%　→　100%
　御料線
　目標 100%　→　100%
　令和3年4月実施のアンケート調査において、下多寄線及び御料線の満足度が昨年に引き続き100%となった。

・効果
　冬期間のみならず、通年（下多寄線299日稼働、御料線338日稼働）の利用があり、住民への公共交通手段の提供が適切に行われた。

7）事業の今後の改善点

【下多寄線】
運行から10年が経過し、地域への定着は着実に進んでいる。
しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急事態宣言が発出されたことによる外出自粛により、大きく利用者が減少する結果となった。
来たるべきアフターコロナに向けて、あらためて老人クラブ等の会合等で新規利用者の拡大に努めていく。

【御料線】
運行開始から3年目を経過したところであり、引き続き地域への定着を図っていく必要がある。
現状、高頻度で利用いただいている利用者が数名おり、利用実績がそれなりに出ているものの、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急事態宣言が発出されたことによる外出自粛により、利用者が伸び悩む状況となった。
そのため、アフターコロナに向けて、あらためて老人クラブ等へ周知するなど新規利用者の拡大に努めていく。

8）地方運輸局における二次評価結果

（令和4年度分と併せて評価）